

2025~2026
黎明季報
 第5号

We Serve
 ライオンズクラブ 国際協会337-D地区鹿児島R-1Z
鹿児島黎明ライオンズクラブ
 -----クラブ会長スローガン-----
楽しい奉仕会長 L. 假屋達郎

ライオンズクラブ国際協会 337-D地区 鹿児島R.1Z・2Z
鹿児島市内11LC新年合同例会

令和8年1月27日（火）午後6時半より、市内11LC新年合同例会がサンロイヤルホテル太陽の間で開かれ、式の司会進行は鹿児島さつまLC、鹿児島維新LC、祝宴の式の司会進行は鹿児島南洲LCと鹿児島リパティLCの幹事が担当して行われました。2月5日の例会で正式に入会の興柁真也氏と野口幸榮氏が母親も一緒に参加されました。式は国歌斉唱、物故ライオンに対しての黙祷があり、「ライオンズクラブの歌」斉唱、「ライオンズの誓い」朗読。ホストクラブ会長代表挨拶、地区役員紹介の後、地区役員代表挨拶として脇黒丸ガバナーが熱のこもった挨拶を致しました（ガバナー挨拶全文は別掲のとおり）。祝宴では恒例の鏡割りがあり、その後祝宴、アトラクションとしてピアノ、津軽三味線、サクソフォンの「New Spring Trio」の演奏が華を添えていました。最後に太陽の間、一杯に手を繋いでの「また会う日まで」を歌い、新年合同例会は終わりました。

~~~~~ ガバナー挨拶全文 ~~~~~  
 2026年、馬年を迎えました。馬は振り返らず前を見て、一歩ずつ進みます。私たちLCも同じです。「無理をせず、確実に、前へ」この姿勢を全員で大切に、前へ進む一年にしていきたいと思います。

先週は、貧困家庭の乳幼児問題や会員増強、奉仕力アップ・地域支援強化セミナー、さらにライオンズクエスト・フォーラムと多くの行事が続きました。ガバナーとして折り返しを迎えられたのも、皆さま一人ひとりの支えのおかげです。心より感謝申し上げます。

今期の大きな柱は二つ、会員純増20名、そしてLCIF20万ドル。これは数合わせではありません。奉仕の心を、次の世代へ確実につなぐための目標です。私たちは、仲良しサークルでなく社会に奉仕する組織、それがライオンズです。意見の違いを認め、方針とルールを尊重し、力を合わせて行動する。それが、Lのバッジを胸に付けるライオンズの原点であり、誇りです。

今期の合言葉は、①「寄付ゼロクラブをなくす」②「1人の100歩より、100人の1歩」  
 会員一人ひとりが年間100ドルという小さな一歩を分かち合うことで、負担は分散され、役職は「背負うもの」から「関わりたくなるもの」へと変わります。その積み重ねが、自然な会員増強へとつながっていきます。馬年の今年、走り過ぎず立ち止まらず、ライオンズ活動は楽しく。

地区スローガン「笑顔でつなぐ、We Serve」、ガバナーテーマ「楽しく仲間を増やし 奉仕の輪」と、地域に笑顔を広げてまいりましょう。

4月18日の地区年次大会では、1・2ゾーンの皆さまのお力をお借りし、心に残る大会にしたいと思います。本年も健康第一で、未来につながる一年にしていきたいと思います。



お揃いのはっぴで鏡割り



3役はいませんが・・・



New Spring Trio



野口幸榮親子とともに

開宴挨拶

LIONS INTERNATIONAL  
**二人の新ライオン誕生**  
 897回例会にて

令和8年2月5日（木）午後6時半からの第897回例会で2人の新ライオンが誕生。また福岡黎明LCから会長L.内藤正英はじめ8名のライオンと同伴者1名の9名が例会訪問され、華を添えて頂きました。假屋会長の「今日は福岡黎明ライオンズクラブの方々にも出席頂き有り難うございます。私は3回目の会長で、スローガンは簡潔に「楽しい奉仕」としています。私が中学生の頃、良くテレビでやっていたスローガンで「指圧の心は母心、押せば命の泉湧く」というのがありましたが「奉仕の心、母心、すれば命の泉湧く」ということで楽しく奉仕をしましょう」と挨拶。

ゲスト紹介の後、福岡黎明ライオンズクラブ会長のL.内藤正英から次のように挨拶頂きました。「今日は温かくお迎え頂き有り難うございます。また脇黒丸ガバナー就任おめでとうございます。姉妹クラブとして永年交流させて頂き、今回このように招待頂き有り難うございます。私ども福岡黎明ライオンズクラブも奉仕の精神で活動していますが、の今日は皆様の奉仕の活動などしっかり勉強させて頂き、頑張ろうと思っていますので、宜しくお願い致します」と挨拶されました。

入会式では会員出席委員会委員長L.伊東祐久が掲げるクラブ旗を先頭にスポンサーと共に2人の新ライオンが登場。L.興柁真也のスポンサーL.富永修が「社会保険労務士で顧問先で知り合いになりました2年近くになります。良い方でしたので、この前声をかけ、口説きましたら快く引き受けて頂き、感謝しています。黎明LCには社会保険労務士がいませんので皆様も相談があれば頂ければ有り難いと思います。」と紹介。L.野口幸榮のスポンサーL.脇黒丸一典が「クラブが一番若いと思います。彼は19歳です。実は鹿児島大学でクラブを作る予定でしたが20名集まらず、それは諦めて、引退してきました。鹿大の海洋土木で勉強しています。実はお母さんが複合のWTYの委員長をされて、都城のクラブで非常に活躍されています。お母さんから是非奉仕事業に参加させて欲しいということで黎明ライオンズクラブにお誘いした訳です。もうひとり42歳の上野さんが入会予定です。宜しくお願い致します」と紹介しました。

その後、二人が誓いの言葉を述べた後、スポンサーが二人にライオンバッジを背広の襟に着けて盛大な拍手の中で入会式が終わりました。次に新ライオンより挨拶がありました。興柁ライオンが「鹿児島市吉野のほうで社会保険労務士を行っている興柁と申します。宜しくお願い致します。これまでは鹿児島法人会青年部会で主に小中学生を対象に税の大切さを教える租税教室に取り組んでいましたが、法人会を卒業する機会に

社会貢献活動に何かないかと思った時に富永先生にお話を頂きました。宜しくお願い致します。」

次いで野口ライオンが「今回入会しました野口です。まだ大学生です。大人の礼儀というのを知らない未熟な所もあると思いますが、宜しくお願い致します。」と挨拶。次いで脇黒丸ガバナーが次のように挨拶しました。

『福岡黎明の皆様、今日は有り難うございました。姉妹クラブになって3年、今後も姉妹クラブとして行き来をしましょう。私もガバナーになって半年経ちます。第二副地区ガバナー、第一副地区ガバナーを経験してガバナーになったのですが、何しよう、何しようと考えている内にあつという間の2・3年でした。私の座右の銘は「We Serve」、奉仕は楽しくなくてはならないということをお願いしてきました。皆、仲良く、楽しく、笑顔を忘れず、老若男女、考えながら笑顔を作って、仲間を増やし、奉仕の輪を広げて参りましょう。ライオンズは地域社会への奉仕の活動と会員同士の絆を深める社交の場です。つまり社交と奉仕のバランスをとって行きたいと訴えてきました。後残り、5ヶ月、4月18日、19日には大きな行事があります。72回の年次大会がサンロイヤルホテルで、複合の行事として5月の22日、宮崎のシーガイアで72回複合大会があります。その時にまた福岡黎明の方々とお会いできればと思っています。これが私のタキシードの収めになります。今日二人の新会員が誕生しました。もう一人必ず入れたいと思っています。宜しくお願い致します。』

その後、前会長L.有馬 洋の音頭で乾杯があり、和気藹々の内に例会は進み、最後に大きな輪になり「又会う日まで」を歌い、例会は終了しました。



2月1日午前7時半より今年最初の大久保・西郷生誕地公園の早朝清掃が行われました。瀬戸山L.より恵方巻きの差し入れがありました。有り難うございました。

【編集後記】  
 立春も過ぎた8日、鹿児島にも雪が降りました。一面の銀世界が楽しめました。2名のライオンが誕生して午年が良いニュースで始まりました。「こいつあ春から縁起がいいわえ」三人吉三の名台詞幹事も強調しましたが10名以上の会員増強に励みましょう。PR情報委員長L.伊東祐久



主にお中學生を対象に税の大切さを教える租税教室に取り組んでいましたが、法人会を卒業する機会に